

令和2年度

第2回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和3年2月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第2回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和3年2月19日（金）10：30～13：00

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：（有）アルファ代表取締役 杉山 一真先生

（有）早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

○松林校長より

職業実践専門課程認定校として、3年が経過し、教育内容の向上として3年目で結果が出てきている。

学校にとって大事な意味のある3年間である。

客観的な意見をいただき、前進することが出来ている。

今後もより一層ステップアップしていきたいので、忌憚ないご意見を出して頂きたい。

【議題】

1. 令和2年度第2回自己評価委員会報告

令和2年度自己評価・自己点検中間報告について（資料1）

令和2年度報告として、教育理念の2項目・学校運営の4項目・教育活動の5項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の2項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等の遵守の2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、評価4を今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

新型コロナウイルスの影響がある中、先生方の努力により、コロナ感染者を出さずにいてくれる事を評価している。

（基準1） **総括** 「教育とは教える者と教えられる者との関わりの中で、人を変える営みである」技術教育機関である本学園は、人格・技術共に豊かな変貌を期待できる全人的な教育を目指しています。
教える者・教えられる者ともに今よりも一歩前進を心掛け、未来に繋がる確かな技術を、創造的に先取りできる人材育成を似なっ、教育理念とします。

- ・美容科が職業実践専門課程認定校として認定された。
- ・美容科授業に連携企業の現役美容師や各種スペシャリストを委託。1学年では昨年度より取り入れたカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただいている。2学年ではより深くまで習得できるようにパーマ・アップセット・ネイル・メイクのうち2課目の選択をして授業を行う。前期が終了した。
- ・ビューティビジネス科ではブライダルに特化した技術習得カリキュラムを導入している。
- ・令和 元年 教育環境の更なる充実を図るため新校舎改築に向け始動。令和4年3月完成予定。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

・パーマの選択授業に関わらせて頂いているが、学生からの評価意見を聞かせてほしい。

→学生たちは皆、興味を持って取り組んでいる。

・両校の学生の感じの違いはあるが、皆さん一生懸命受講してくれているので、将来楽しみである。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

・教育理念は学校としてとても大切である。学校として学生にどこまで伝えられるかが重要。

本校は最高の学校であると感じている。

今後の改善方策

・教育理念をしっかりと学生に伝えられていくよう、指導に取り入れていきたい。

(基準2) **総括** 令和2年第8次5か年計画（令和2年～6年）を策定し、学校教育の充実、経営面の名良、的確な運営処理、危機管理体制、施設設備の充実を行う。

- ・新型コロナウイルス感染予防の為の環境の整備。リモート授業の設備の充実。
- ・危機管理マニュアルに沿って危機管理体制が機能した。
- ・教育内容・教育環境の向上のため新校舎建築事業の推進
- ・令和4年3月新校舎完成に向けて建築事業を進めていく。
- ・令和3年1月ビューティビジネス科教員を1名採用。
- ・インスタグラムなどを活用し、学校の情報提供をするなどウェブサイトの充実を図っている。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・リモート授業の導入の感じは？
→きちんと対応できている。

今後の改善方策

- ・時代に合わせて授業を組んでいく。

(基準3)

- ・幅広い教養や社会人基礎力の養成を目的とし、現場に沿った教育のため産学連携授業を取り入れている。担当講師と連携を取りつつ、目標への到達を行っている。
- ・1学年美容授業では昨年に引き続きカット授業に3店舗のサロン講師に授業をしていただく。
- ・2学年美容科ではより深くまで習得できるようにパーマ、アップ、セット、ネイル、メイクのうち2課目の選択をして授業を行っていく。各課目サロン講師や各種スペシャリストに講師をしていただく。
- ・ビューティビジネス科はブライダルコーディネーターのカリキュラムを導入している。
- ・感染症拡大防止対策のため、オリエンテーションや各種イベントが中止や延期となっているが、オンラインでのコンテストやフォトコンテストが開催され、参加することができた。
- ・授業アンケートや、学生満足度調査など随時行い、教職員全員が共有し、常に軌道修正を行っている。資格に関する授業はすべて担当職員が学生による評価を実施している。学生および教職員のモチベーションを喚起し学生のニーズに応える教育環境の実現のためにも「即戦力として社会に通用する人材の育成」という本校の教育理念を踏まえた評価体制を構築していく。
- ・随時指導内容の向上に役立つ研修を行った。メンター講習会やパーソナルブランディング講習会の他、リモート授業へ速やかに対応できるように研修を行った。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・パーソナルブランディング講習を実施してみて、先生自体が自己肯定が低いと感じている。先生同士で認め合い、ほめあう事が必要。コミュニケーションを密にしていくことが大事では。
- ・授業アンケートについて、きちんと振り返りが出来てほしい。

今後の改善方策

- ・アンケートにおいては、学生からの素直な意見が出てきているので、その都度反映させている。
心のケアが重要な1年であった。（国家試験・就職活動への不安）

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・パーソナルブランディング講習会を実施したことは非常に良い。学生を指導するうえで、先生からの影響は大きい。

- ・教える側の人間性が大事である。前向きにとらえること。メンタルの強化。学生の様子も年々変化してきているので、柔軟に対応していくべきである。
- ・ほめる教育を軸に、いろいろな時代にあった方策を考えていってほしい。LINE等も上手に活用し学生一人一人に対して、向き合っていくことも必要では。
- ・職員の声に耳を傾けること。校長面接も必要になってくるのでは。

今後の改善方策

- ・職員の意識改革が必要と考える。比較する指導の改善に取り組んでいきたい。しかし、学生の変化にとまどっている部分もあるので、柔軟に対応していきたい。
- ・学校関係者委員の先生方の意見を前向きにとらえ、活かすことが出来ている。

(基準4) **総括**：・今年度は休学者2学年3名、退学者2名。1学年休学者2名、退学者3名。併せて休学者5名、退学者5名となった。学生への学習意欲を駆り立て、個々に合わせた指導と、教員の連携を行ったが、日常生活においての精神の不安定や、金銭面からなる目標の揺らぎなど様々な要因である。生活指導と目標を見失わないような、魅力的なカリキュラムを取り入れ、社会人としてのたくましさを育てる教育をしていく。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・休学・退学者が2年生になってから多いことが気になる。自分の将来への不安。夢を描けないことが原因ではパニック障害や、学習障害など難しい学生も居るので、大変だと思うが、その都度学校全体で方策を検討し良い方向へ進んでいってほしい。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・現在、親子塾がうまく活用できている様子だが、今後は、スクールカウンセラーも必要になってくるのでは。

今後の改善方策

- ・難しい家庭環境の学生も増えてきているため、今後も引き続き、スクールカウンセラー・親子塾との連携をとり、サポート体制を強化していく。

(基準5) **総括** 新型コロナウイルス感染防止対策として示された、文部科学省「学びの保証」へのガイドラインに沿って修学支援を推進する。

- ・令和3年度「ビューティコレクション」として、長野校と共に学修成果の発表機会として計画を推進する。
- ・就職時期が例年より遅れていたため、就職相談を密に実施した。
- ・オンライン形式の面接・見学のサロンが増加したため、対応できるよう準備し、実施。
- ・「あなたが誰かの夢になる」というスローガンのもと、個々の興味や研究を深めていくことで、確立できると考える。
- ・休校期間にも、担任や学年からのリモート授業により、毎日の確認を行うことができた。また、体調確認や意識調査などにより、早めの対応を行うことができた。
- ・高等教育修学支援の指定校となったため、入学生及び在校生へ周知した。
「給付型修学支援」 対象者 1年生10名 2学年6名
- ・長野県からの感染防止マニュアルを基に、本校での感染防止マニュアルを作成し、毎日の健康観察と新しい生活様式を徹底した。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・リモート面接の対応策として、採用につながるためにレスポンスの速さが重要である。後回しにしない人材が求められている。

今後の改善方策

- ・就職活動内容が、変化してきているため、今後もより一層時代に沿った就活ができるよう、就職部と協力していく。

(基準6)

- ・実務実習、来校実習、アゲインイベントなど中止となったが、オープンキャンパスでのミニヘアショーや、校内競技会などを通じて美容の楽しさややりがいを感じさせることができた。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・守る時期は過ぎているので、イベント等に対して前向きに取り組んでいくべきである。

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・コロナ影響で各イベントが中止になっているが、方法を考え経験をさせていくことが大事である。

今後の改善方策

- ・今年度は各イベント・大会が中止になっているため、現状で実施できる校内イベントなどを計画している。学生たちの満足度を上げるため、実施していきたい。やり方を工夫し、在校生の満足度を上げることに重点をおき、実行していきたい。

(基準7) **総括**：高大接続に伴う AO 入試実施を検討する

「令和4年度からの高専接続対策として、AO入試に関する長野県としての共通ガイドラインが県専各連より示された」

- ・オンライン形式の進学相談実施
- ・「ビューコレ2020」延期における理解と説明、周知の徹底
- ・令和3年度「ビューティコレクション」の計画推進
- ・ネット出願資料の準備及び体制構築
- ・新型コロナウイルスの影響を考慮しオンライン形式の進学相談の増加に対する準備（wifi環境整備）し、強化した
- ・学園HP内容リニューアル準備
- ・ネット広告導入するため、業者との打ち合わせを実施

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・ナガコレについても今年度実施できなかったため、今年度5/5に開催予定である。従来よりも大きなイベントになる予定である。県立美術館を使用し、芸術とのコラボのショーと、セントラルスクエアでも披露する形を計画している。やり方を工夫して実施していくので、学校も前向きに協力してほしい。
- ・美容師の憧れをつくっていききたい。学校と協力体制を強化していきたい。
- ・広告（宣伝）は、小さなことでも永遠に続けていくことが大事である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・入学生増加したことで、より一層在校生の満足度をあげて行ってほしい。
- ・中学生向けの職場体験に力を入れている。美容業界全体で後押しをしている。職の魅力を伝えていきたい。
- ・学校と業界の連携を引き続き行っていきたい。

今後の改善方法

- ・在校生個人のフォロワーが多いので、上手く活用していきたい。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9) ・全職員が重点目標に対し理解を高めて、自己評価し問題解決に向かっている。

・定期的に自己評価委員会及び関係者委員会を実施し、定期的に自己評価を行い、随時公開していく。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

2. 重点目標について (別紙1参照)

(1) 令和2年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和2年度重点目標の実施状況の報告

・教育成果を正確に伝え、学生募集活動を充実させる。

- ① 挨拶・返事・整理整頓・清掃・品格・人のためを考える・コミュニケーション能力・行動力
職員の技術力や指導力の向上
- ② 学生達が楽しく学べる環境づくりについて
- ③ 学生募集

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・重点目標に対して、考え・方策が変化していることが大事である。
- ・学生を1番に考え、よく見て対応していくことが必要である。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・学校としての本音を知ることが出来、良かった。今後は、悩んでいる先生の想いを救っていくこと。先生が楽しく、前向きに働いている姿を学生に見せていくことが大切である。一つ一つの課題をクリアにしてほしい。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

(2) 令和3年度実施目標 (別紙2参照)

- ① 教育活動 美容技術や人間力の向上
 - ② 学生支援 学校生活の充実
 - ③ 学生募集 学校の魅力と美容の魅力を伝えていく
- ・入学から卒業まで、そして卒業後にはたくましく成長し続ける美容の技術者として活躍できる社会人の育成
感染防止対策を徹底して、工夫して環境を整え、在校生の満足度を上げる
 - ・オープンキャンパスの実施方法を充実させる
 - ・HPのみではなく SNS の活用、インスタの工夫、ビューティタイムスの見直し
 - ・学校の認知度を高め、地域へ浸透していく工夫をする

【学生への重点目標】

① 挑戦

- ・美容や芸術に興味関心を持ち情報収集し、発想・構想する力
- ・粘り強く最後までやり抜く力
- ・思いや考えを発信し、積極的に行動する力
- ・心と体を健康に保つ

②協働・貢献

- ・他業種の方たちと対話し、協力しながら人間力を磨く
- ・仲間や地域に貢献し自己を高め創造力を養う
- ・問題を見つけそれに向き合い、行動する

③笑顔

- ・自分や周りの人（お客様）の心や身体を元気に
- ・感謝の心を忘れずに

学校関係者評価委員コメント 杉山委員より

- ・いろいろな考え方があることを、学生たちに伝える機会を増やしてほしい。
- ・悩んでいる部分を軽減できるセミナーを実施できると良いのでは。成功例より失敗例のほうが、学生の心に響く。
- ・違う方面からのアプローチも必要。新しい人材をピックアップし、新しい情報を入れて行ってほしい。卒業生を上手く活用していくべきである。

学校関係者評価委員コメント 早川委員より

- ・想いや考えを発信する時代である。SNSやコンプライアンスをふまえながら、発信方法をきちんと学ばせることも必要では。
- ・重点目標をきちんと考えられているので、目標達成に向けて頑張ってもらいたい。
- ・新しい時代・環境に合わせてアプローチ方法を変化させていく必要もあるのでは。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。

最終まとめ

- ・やるべきことを一つずつ丁寧に頑張ってもらいたい。協力は惜しまない。

3. 次回予定

令和3年度第1回学校関係者評価委員会 令和3年7月16日（金） 10:30～